

## 第2学年 国語科 単元名「冬がいっぱい」

### 1. 目標

- 季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探することができる。【関心・意欲・態度】
- 冬に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章に表すことができる。【書くこと】
- 季節の動植物や、季節を感じる言葉を探することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

### 2. 指導計画（2時間扱い）

見通す  
取り組む  
振り返る

①時 冬を感じる言葉を探し、グループごとに交流し、全体で発表する。

←学び合いの例

②時 冬を感じたときの経験を簡単な構成でカードに書き、感想を交流する。

### 3. 第①時について

- 目標 季節の動植物や、季節を感じる言葉を探することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

見通す  
取り組む

活動① 挿絵を手掛かりに、冬に関わる言葉を探し、本時の学習課題を知る。

T : 今日の課題は「冬をかんじることばをさがそう」です。

活動② 冬を感じる言葉を探して、付箋に書く。

T : 冬だなあと感じる言葉を探して、付箋に書きましょう。

活動③ グループで交流し、**ワークシートを活用して分類・整理する。**

T : 1つずつ書いた言葉を発表していきます。発表したら、ワークシートに付箋をはりましょう。同じ言葉があったら、付箋を重ねてはりましょう。

S1 : ぼくは、しもばしらが冬だなあと思います。どうしてかという、校庭で遊んでいる時に、よく見るからです。

S2 : しもばしらは、木・草・花や食べ物・生き物ではないから、そのほかだね。

S3 : わたしも書いたよ。重ねてはるね。

活動④ 全体で発表しあう。

T : グループで出た言葉を発表しましょう。

S4 : そのほかでは、スキー、かまくら、手ぶくろができました。

T : ほかに出た言葉はありますか。

S5 : だんぼう、マフラー、ゆずが出ました。

T : ゆずは、どうして冬だと思ったのですか。

S6 : 冬になるとゆずをお風呂に入れることがあるからです。

T : なるほど、すてきですね。

活動⑤ 振り返りをする。

T : 今日の学習で、わかったことや気付いたことは何ですか。

S7 : 冬だから、木・草・花と生き物は少ないと思いました。

S8 : 夏は生き物が多かったけど、冬は冬眠しているから少ないんだと思います。

S9 : そのほかのものは、暖かくするためのものが多いと思いました。

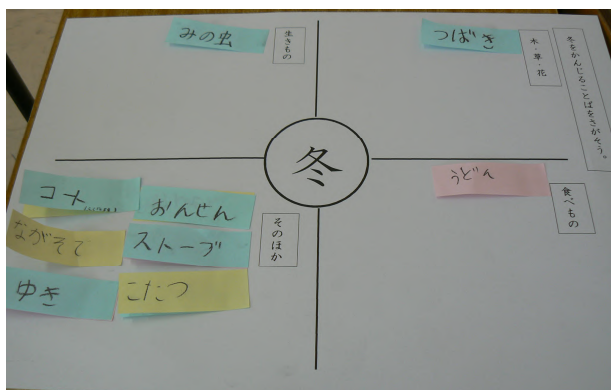
T : 今日みんなで学習してどうでしたか。

S10 : 友だちと一緒に考えられて楽しかったです。

振り返る

#### 4. 学び合いの例について

【活動③】：学び合いの活性化を図るための工夫



「生き物」「そのほか」の4つに分類し、整理していくようにする。同じ言葉でも分類するところが異なる場合があることに気づき、その理由を聞き合えるようにする。

(留意点)

- ・季節の行事、風習、自然の様子や季節の移り変わりに、日頃から目を向けられるよう、生活科との関連を図りながら心がけていく。

【活動③】：学習形態の工夫



(手だて)

##### ① 効果的な学習形態の工夫

活動②で付箋に書き出した自分の意見を活動③でグループごとに交流する。友達の考えを聞くことで、自分の考えと同じであることに気づいたり、自分では思いつかなかった言葉を知ること、考えを広げたりできるようにする。また、理由を聞くことで、友達の考えを深く理解できるようにする。

##### ② お互いの意見を意識して聞き合うための工夫

活動④において、全体の発表を聞く際、グループ内で、発表する人と他の班から出た意見をチェックする人との役割を分担した。他の班の発表で出た意見は付箋紙にチェックするようにし、意識して発表を聞けるようにした。

##### ③ 話型の提示

話型を提示することで、話し方がわかり、1人1人が安心して話すことができるようにする。また、理由を添えて話すことで、考えを深めたり広げたりできるようにする。

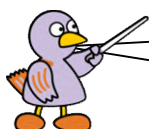
(留意点)

- ・日頃から、学び合う学習のねらいをはっきりさせるとともに、ペア、小グループ、学級全体といった学習形態を適宜取り入れるように心がけていく。

小学校第2学年 国語科

## 単元名 「冬がいっぱい」

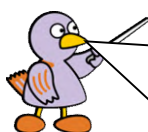
### 取組のワンポイントアドバイス



こうすればうまくいくよ！  
実践にあたり工夫したところ・子供たちの変容の様子を教えます。

「夏がいっぱい」の授業をした時には、個人で書いた付箋紙をはっておく場所を決めておきませんでした。次のグループ活動になった際、机の場所を空ける必要があり、付箋紙をはり替える様子が見られました。そこで、書いた付箋紙は全員筆箱に貼るようにし、机上をすっきりさせるようにしました。

「聞く」ことが課題であったため、全体での発表の際、発表された意見を整理しやすくしたり、友達の意見を意識して聞いたりできるように、他の班から出た意見は付箋紙に印をつけるようにしました。



振り返りは二つの観点で行いました。一つは、「今日の授業で分かったことは何ですか。」という、国語の本時のねらいについての振り返りです。もう一つは、「冬を感じる言葉を班の友達と一緒に考えましたが、どうでしたか。」という、学習活動に対する振り返りです。この振り返りをする事で、学び合いについて意識できるようになりました。

振り返りの場面では、こちらの投げかけがなくても、これまでの季節と比較して考える発言が聞かれました。このことは、春、夏、秋、冬と季節の言葉の学習を進めてきた、積み重ねの表れだと思えます。

